

第1学年 食育学習指導案

令和6年9月18・20日(水・金) 3・4校時
 授業者 学級担任 (T1)
 栄養教諭 (T2)

【単元名】 3つのグループのたべものをたべよう

【めあて】 すききらいなく食べることの良さについて考え、すききらいしないで、何でも食べようと
 する実践意欲につなげる。

【食育の視点】 食べものの大切さを理解する。(食事の重要性)

すききらいせずにも何でも食べようとすする実践意欲につなげる(心身の健康)

授業の流れ

時間	学習活動	支援	使用するもの
5分	今日の学習について かたち当てクイズをする。	<ul style="list-style-type: none"> 箱の中に入っている実物の食品を触らせ、ひとつずつ何の食べ物か当てさせることにより、児童の食品に対する関心の高揚を図る。(T1) 自分の食生活を振り返りやすいよう出てきた食べ物について、自分の好き嫌いを意識させる。(T1) 	はてなBOX 食品 フードモデル
5分	本時のめあてを知る。	好きなものだけ食べていいのかをなげかけ、課題意識を持たせる。(T1)	
5分	「食べるかどうかがあるのか」話し合う。	「大きくなれる」「速く走れる」「元気になる」児童から出せるように働きかける。(T1)	
15分	紙芝居を見て、食べ物の働きについて知る。	食べることの大切さに気づくよう、食べ物には、健康に過ごすための3つの働きがあることや、いろいろな食べ物を食べることの大切さを抑える。(T2)	紙芝居 (P.P) 「3つのグループの食べものを食べよう」
15分	グループで、今日の給食の材料を、3つの色に分けるゲームをする。 答え合わせを黒板で行う。	食べものの3つのはたらきが理解しているか巡回指導する。(T1, T2)	赤黄緑シート 食品カード
5分	今日の学習をふりかえる。	あてはまるところに○ができるよう、支援する。(T1)	ワークシート

【評価基準】 すききらいなく食べることの良さを考え、判断し、実践しようとしている。

(思考・判断・実践)

【板書計画】

③ 3つのグループのたべものをたべよう

たべるといいこと

- ・ 児童からの回答
- ・ おおきくなる
- ・ かぜひかない
- ・ げんきになる

3つのグループの食べものを食べよう

黄 おもにエネルギーのもとになる



赤 おもに体をつくるもとになる



緑 おもに体のちようしをととのえるもとになる



今日のきゆうしよく

